

PRESS RELEASE

施肥マップ&車速連動の精密散布を実現！

株式会社タカキタ マップ連動施肥対応 Mix ソーワ

MX1601AG/MX1801AG/MX2201AG

株式会社タカキタ様より、当社のトラクタBFシリーズのマップ連動機能を使用して、可変施肥作業を実現するMixソーワが発売されました。

1. 開発のねらい

車速連動対応のMixソーワでは車速が変化しても肥料の均一散布が可能となっています。またBFトラクタと接続することで、「xarvio® FIELD MANAGER (ザルビオ®フィールドマネージャー)」等に連携し、マップ連動可変施肥作業を行うことができます。センシングマップデータを活用した可変施肥作業を実現し、農家の方の資材費低減に貢献してまいります。

2. 発売型式

MX1601AG/MX1801AG/MX2201AG

3. 主な特長

1) トラクタBFと連動した精密散布の実現

トラクタBFにザルビオ®フィールドマネージャー等のセンシングマップデータを取り込み、施肥マップを作成し、それに基づきほ場内の地力等に応じて可変施肥作業を実現いたします。また、上記の可変施肥作業と同時に車速連動での施肥作業も実現いたします。

2) シャッタ開閉速度上昇

2つのモータを搭載しシャッタ開閉スピードが従来機比2倍となっており車速への追従性が向上いたしました。

3) 便利な機能

(1) 調量モード

ほ場での散布前にコントロールボックスの調量モードで、混合後の肥料のシャッタからの落下量を測ることで、撒き始めから設定散布量と実際の散布量のずれを小さくすることができます。

(2) 6種類の散布モード

Mix ソーワでは混合、散布する肥料の種類が多いため粒状、砂状、粉状、有機、ペレット、米ぬかの6種類から近い形状の肥料を選択し、車速に応じたシャッタ開度にすることができます。

(3) クイック散布モード

通常の車速連動では車速が上がってからシャッタが開くため、走り始めに散布できない区画が発生してしまいます。

撒き始め、撒き終わりの位置を揃えたい場合や、撒き始めが薄くならないように肥料の落ち方を確認してから走行したい場合は、クイック散布モードを設定することで「開」ボタンを押すと、車速が上がらなくても設定した車速に応じてシャッタが開き散布を開始します。その後、走行して車速が上がると車速連動に切り替わります。

(4) オートヒッチ対応

オートヒッチ対応のため、ワンタッチで作業機の取り付け、取り外しが可能です。

4. 発売時期

2024年11月

5. 希望小売価格（消費税込）

MX1601AG	896,500円
MX1801AG	957,000円
MX2201AG	1,064,800～1,074,700円